

# 株主通信

2008.4.1 ▶ 2009.3.31



Online Business Solution & Service



SOFTBANK TECHNOLOGY CORP.

# 財務ハイライト

## 第21期 連結業績

売上高 29,371百万円

経常利益 1,068百万円

当期純利益 211百万円

純資產 6,970百万円

## ●経常利益の推移



## ●純資産・自己資本比率の推移



## ●売上高の推移



## ●当期純利益の推移



## ●1株当たり当期純利益・ROEの推移







# 株主の皆様へ

第21期(平成21年3月期)決算報告について

代表取締役社長 石川 憲和

当社を取りまく環境は、当連結会計年度前半は堅調に推移 したものの、世界的な景気の後退により、当連結会計年度後半 では企業収益の悪化による開発投資の抑制やコスト削減の影響 等により、急速に悪化しました。

こうした状況の中で当連結会計年度の売上高は、前連結会計年度より140百万円増加して29,371百万円(前期比+0.5%)となりましたが、営業利益は前連結会計年度より74百万円減少して、1,006百万円(前期比△6.9%)となりました。売上高は、イービジネスサービス事業で減少したものの、ソリューション事業のソフトバンクグループ向けの売上が順調で増収となりました。

営業利益は、イービジネスサービス事業では堅調に推移したものの、ソリューション事業ではシステムインテグレーションおよびネットワークインテグレーションの稼働率が低下したことにより、減益となりました。経営利益は持分法による投資利益の減少と

受取利息の減少により、前連結会計年度より141百万円減少し、 1,068百万円(前期比△11.7%)となりました。特別損益では、 投資有価証券の売却益が前連結会計年度より337百万円減少 する一方、投資有価証券の評価損が319百万円増加しました。

これらの結果、当期純利益は前連結会計年度より639百万円 減少して、211百万円(前期比△75.2%)となりました。

なお、当連結会計年度より売上原価の計上区分の変更を実施 したことに伴い、従来の方法によった場合に比べ、営業利益、 経常利益がそれぞれ95百万円増加しております。

当期の配当金は、前期と同額の1株当たり16円とさせていただきました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援 を賜りますようお願い申し上げます。

## トピックス

## 法人向け携帯電話アプリケーション 「みんなの業務アプリ」 シリーズの販売開始

「みんなの業務アプリ」シリーズは、日常の小さな業務処理をそれぞれ単独のアプリケーションとして提供することで、分かりやすい操作、低価格、短期間での導入を実現し、お客様のニーズに合わせて複数のアプリケーションを組み合わせることも可能です。また、複数のアプリケーションをご利用いただく場合は、当社で提供中の待ち受け画面カスタマイズ・サービス「Bizフェイス」を併用いただくことで、待ち受け画面から、ワンプッシュでアプリケーションを呼び出すことができるようになるなど、さらに便利で簡易な操作が可能になります。

法人利用に必須のセキュリティも標準装備されており、安心してご利用いただけます。

本シリーズの第一弾として、「みんなの掲示板」「みんなの打刻」 の2つのアプリケーションの提供を開始し、今後も各種アプリケー ションを拡充していく予定です。

## Webアクセス解析との連携による 検索連動型広告 キーワード入札効率化サービスを開始

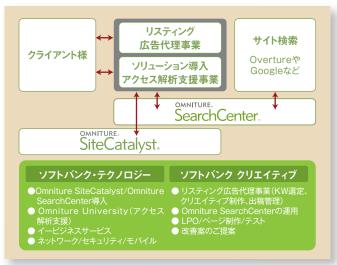
ソフトバンク クリエイティブ株式会社と提携し、「キーワード入札効率化」 サービスの提供を開始しました。

本サービスは、当社が行うOmniture SiteCatalyst®によるWeb アクセス解析サービスと、ソフトバンク クリエイティブが行うOmniture SearchCenter™による検索連動型広告の運用支援サービスを連携させることで、Webマーケティング業務の効率化および、効果の最大化を図ります。

検索連動型広告は、ターゲットを絞った広告を打つことが最大のメリットであるとともに、成約率と広告単価を厳密に測定しなくてはならず、複雑な計算と経験に拠るところが多くありました。

本サービスは、これまで人手に頼っていた検索連動型広告の入札をシステム化して提供し、さらに、アクセス解析サービスと組み合わせることで、広告効果をより厳密に把握することが可能となります。また、キーワードの選定、広告クリエイティブ(タイトル・説明文)の作成、ランディングページの最適化などのWebサイト運用支援サービスも提供します。





## データマイニング製品「KXEN」の販売開始 ~高速・簡単に、新機軸の 分析ソリューションを提供~

当社はWeb解析ソリューションをはじめとしたWebマーケティングサービスなど、総合的なマーケティング分析を行うためのシステムプラットフォームを提供しています。今回新たに「KXEN」を加えることで、データマイニングを行ううえでの分析提案、情報提供といったサービス面の強化を図っていきます。

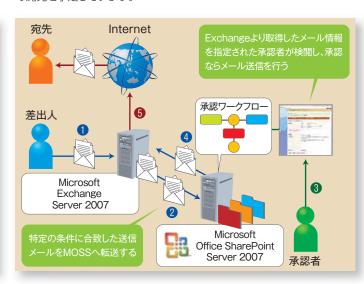
「KXEN」は、データマイニング製品として、売上、利益、在庫等の「予見値・予測値の算出」などを行い、マーケティング部門や企画部門などにおけるキャンペーンROIの向上、分析コストの削減のみならず、サイト運営、製品開発、店舗出店、などに関しても、有効な指標をすばやく提供し、総合的なROIの向上を実現します。従来のデータマイニング製品と異なり、圧倒的なスピードでデータを算出することができ、初心者でもわかりやすい操作で、専門家に依存していた分析を気軽に行えます。かつ、「KXEN」ならではの独自のアルゴリズムで信頼性の高い分析結果を得ることができます。



## マイクロソフト監修 メールによる情報漏えい対策ツール 「メール情報セキュリティ強化パック」を 無償で提供開始

メールによる情報漏洩の事件・事故は、企業の存続にも関わる重大なリスクだと認識されています。本ツールをご利用いただくことで、ハッカーなどの外部からの攻撃を防ぐとともに、社員など内部からの情報漏洩リスクをコントロールし、自社のセキュリティポリシーを徹底させることができます。従来、本ツールが提供する機能を代替し、外部/内部からの情報漏洩対策を徹底させるためには、1つ1つのメールの内容を専任の担当者が監査し、有償のシステムを自社システムと連携するよう構築するなど、莫大な人手による労力や費用がかかっていました。

マイクロソフトの起案・監修した本ツールは、Exchange Server 2007、SharePoint Server 2007、Outlook 2007をご利用中のユーザー様向けに、「外部送信メール承認機能」、「メール添付ファイルリンク変換機能」「Outlookポリシーチェック機能」をパッケージとして提供し、誰でも無償で入手することができるものです。今後は本ツールの保守および、各企業の個別のニーズに合わせたカスタマイズを行うとともに、iPhoneなどのモバイル対応やマイクロソフトの各種アプリケーションと連携したソリューションの開発を予定しています。



# 事業の概況

## ●イービジネスサービス事業



当連結会計年度の売上高は17,203百万円(前期比△3.1%)、営業利益は949百万円(前期比+1.7%)となりました。売上高ではEC事業者へのバックオフィス業務運営をトータルサービスとして提供するイーショップエイジェント・アウトソースサービス事業において、ウイルス対策ソフトの売上が減少しました。利益面では、利益率の高い商品の構成を高めることで増益となりました。

## ●ソリューション事業



当連結会計年度の売上高は12,168百万円(前期比+6.0%)、営業利益は57百万円(前期比 △61.2%)となりました。売上高は、ソフトバンクグループ向けの売上が増加したことにより増収となりました。営業利益は、インテグレーション系(NI·SI)の稼働率が低下したこと、ならびにモバイル事業をはじめとする先行投資負担が増加した結果、減益となりました。一方、Webサイト解析ソリューション、統合セキュリティサービスが売上・利益ともに順調に増加し、特にこれらのソリューションにおいては、運用サービスとして継続的な売上が期待できます。

第19期

(平成19年3月期)

第20期

(平成20年3月期)

第21期

(平成21年3月期)

#### ■事業別連結売上高の推移 ●イービジネスサービス事業 ■ソリューション事業 (百万円) (百万円) 12.168 11.474 19.092 11.209 12,000 -20,000 17.757 17,203 15,000 8,000 10,000 4,000 5,000 0 0

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

第21期

(平成21年3月期)

第19期

(平成19年3月期)

第20期

(平成20年3月期)

## 次期の業績見通し

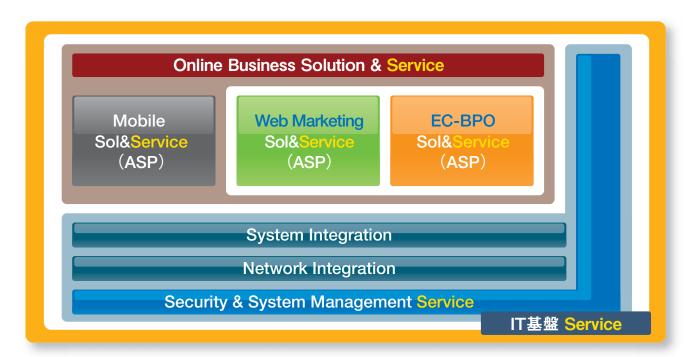
次期の業績は連結売上高29,000百万円、連結当期純利益540 百万円を予想しております。

次期においてもネットワークインテグレーションとシステムインテグレーションをバランスよく融合させた「IT基盤サービス」と、それに支えられた「強固なセキュリティと一貫した運用サービス」を提供いたします。さらにこのIT基盤・運用サービスをベースとして、「ECのプロデュース&コンサルティング」、「Webマーケティング」、「モバイル」の法人向けアプリケーション開発およびそのプラットフォーム提供、の3点から構成される「Online Business Solution & Service」を、インターネットを活用したオンラインビジネスの展開を図る顧客

に提供いたします。また、全体を通じ、ワンタイムソリューションから 継続したサービス提供へシフトして安定した収益基盤を目指します。

この「Online Business Solution & Service」を推進する組織として平成21年4月1日付で事業開発部を設置いたしました。事業開発部では、事業部横断的に且つ製販一体となって上記オンラインビジネスを推進します。

さらに執行役員で構成されたPMO(プロジェクトマネジメントオフィス)を中心に、重要案件の損益・進捗管理、人的リソースの最大効率化、内製・外注の適正配分、調達コストの削減などの構造改革に取り組んでまいります。



# 連結財務諸表

#### POINT 1

#### 流動資産

主に現金及び預金の増加 により、385百万円増加しま した。

#### POINT 2

#### 固定資産

主に投資有価証券の評価替 えにより、664百万円減少しま した。

## **POINT 3**

#### 流動負債

主に未払法人税等の増加 により、265百万円増加しま した。

## 連結貸借対照表

科目	当連結会計年度 (平成21年3月31日)	前連結会計年度 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産 1	7,946,664	7,561,592
現金及び預金	3,194,645	2,617,532
受取手形及び売掛金	3,735,637	3,872,524
商品	111,877	240,755
仕掛品	231,309	222,499
繰延税金資産	130,973	123,174
その他	545,652	487,717
貸倒引当金	△3,432	△2,610
固定資産 🕗	4,307,599	4,972,552
有形固定資産	360,565	319,948
無形固定資産	528,008	431,595
投資その他の資産	3,419,025	4,221,008
(投資有価証券)	(2,530,837)	(3,672,232)
(その他)	(888,188)	(548,776)
資産合計	12,254,263	12,534,144

#### (単位:千円)

		(+12.11)
科目	当連結会計年度 (平成21年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成20年3月31日現在)
負債の部		
流動負債 🕄	5,128,722	4,863,066
買掛金	3,534,377	3,552,700
未払法人税等	289,940	41,075
その他	1,304,404	1,269,291
固定負債	155,154	109,693
長期前受金	155,154	109,693
負債合計	5,283,876	4,972,760
純資産の部		
株主資本	6,898,375	7,214,163
資本金	634,555	634,555
資本剰余金	712,204	712,204
利益剰余金	6,297,525	6,250,681
自己株式	△745,910	△383,278
評価・換算差額等	9,924	206,509
少数株主持分	62,088	140,710
純資産合計 4	6,970,387	7,561,384
負債純資産合計	12,254,263	12,534,144

## 連結キャッシュ・フロー計算書

#### (単位:千円)

## POINT 4

#### 純資産

自己株式の増加、その他有 価証券評価差額の減少など により、590百万円減少しま した。

科目	当連結会計年度 自平成20年4月1日 至平成21年3月31日	前連結会計年度 自平成19年4月1日 至平成20年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,349,902	149,153
投資活動によるキャッシュ・フロー	△242,261	△971,366
財務活動によるキャッシュ・フロー	△530,527	△556,251
現金及び現金同等物の増減額	577,113	△1,378,465
現金及び現金同等物の期首残高	2,617,532	3,995,997
現金及び現金同等物の期末残高	3,194,645	2,617,532

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## ●連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当連結会計年度 自平成20年4月1日 至平成21年3月31日	前連結会計年度 自平成19年4月1日 至平成20年3月31日	
売上高 1	29,371,830	29,231,602	
売上原価 2	26,569,205	23,562,673	
売上総利益	2,802,625	5,668,929	
販売費及び一般管理費 🕗	1,795,871	4,587,925	
営業利益	1,006,754	1,081,003	
営業外収益	92,165 30,650	179,792 51,423	
営業外費用			
経常利益	1,068,268	1,209,372	
特別利益	24,891	351,762	
特別損失	733,938	481,285	
税金等調整前当期純利益	359,220	1,079,849	
法人税、住民税及び事業税	357,946	96,025	
法人税等調整額	△169,238	144,620	
少数株主損失	△40,517	△10,874	
当期純利益 🕄	211,030	850,077	

#### POINT 1

イービジネスサービス事業で 減少したものの、ソリューション 事業においてソフトバンクグ ループ向けの売上が順調で 増収となりました。

売上高

#### POINT 2

#### 売上原価·販管費

従来技術部門発生費用の うち、製品に賦課できないもの は販売費及び一般管理費に 計上しておりましたが、全て の技術部門発生費用を売上 原価として計上する方法に 変更しました。

#### POINT 3

#### 当期純利益

投資有価証券売却益の減少 や投資有価証券評価損の 増加などにより、639百万円 減少しました。

#### POINT 4

#### 自己株式の取得

取締役会にて決議しました 自己株式の取得につきまして、 当期において580,300株、 362百万円の実施をいたし ました。

## 連結株主資本等変動計算書

(単位:千円)

	株主資本							
当連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	資本金	資本 剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	評価·換算 差額等	少数株主 持分	純資産 合計
平成20年3月31日残高	634,555	712,204	6,250,681	△383,278	7,214,163	206,509	140,710	7,561,384
当連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当	_	_	△164,187	_	△164,187	_	_	△164,187
当期純利益	_	_	211,030	_	211,030	_	_	211,030
自己株式の取得 4	_	_	_	△362,632	△362,632	_	_	△362,632
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	_	_	_	_	_	△ 196,585	△78,622	△275,207
当連結会計年度中の変動額合計	_	_	46,843	△362,632	△315,788	△196,585	△78,622	△590,996
平成21年3月31日残高	634,555	712,204	6,297,525	△745,910	6,898,375	9,924	62,088	6,970,387

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# 個別財務諸表

## ●貸借対照表

(単位:千円)

科目	当事業年度 (平成21年3月31日現在)	前事業年度 (平成20年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	7,463,039	7,239,369
固定資産	4,417,681	4,666,559
資産合計	11,880,720	11,905,928
負債の部		
流動負債	4,995,176	4,778,486
固定負債	155,154	109,693
負債合計	5,150,330	4,888,179
純資産の部		
株主資本	6,703,411	6,807,003
資本金	634,555	634,555
資本剰余金	712,204	712,204
利益剰余金	6,102,562	5,843,521
自己株式	△745,910	△383,278
評価・換算差額等	26,978	210,745
純資産合計	6,730,390	7,017,748
負債純資産合計	11,880,720	11,905,928

## ●損益計算書

(単位:千円)

	(単位・十円)
<b>当事業年度</b> 自平成20年4月1日 至平成21年3月31日	前事業年度 自平成19年4月1日 至平成20年3月31日
28,599,217	28,326,949
25,940,760	23,010,046
2,658,457	5,316,903
1,617,625	4,143,010
1,040,831	1,173,892
258,039	70,982
31,639	52,035
1,267,232	1,192,839
16,088	341,884
674,595	759,479
608,725	775,243
349,299	94,558
△163,801	125,984
423,227	554,700
	自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日 28,599,217 25,940,760 2,658,457 1,617,625 1,040,831 258,039 31,639 1,267,232 16,088 674,595 608,725 349,299 △163,801

## ●株主資本等変動計算書

(単位:千円)

							(+12.111)
当事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	資本金	資本 剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	評価·換算 差額等	純資産 合計
平成20年3月31日残高	634,555	712,204	5,843,521	△383,278	6,807,003	210,745	7,017,748
当事業年度中の変動額							
剰余金の配当		_	△164,187	_	△164,187	_	△164,187
当期純利益	_	_	423,227	_	423,227	_	423,227
自己株式の取得		_	_	△362,632	△362,632	_	△362,632
株主資本以外の項目の当事業 年度中の変動額(純額)	_	_	_	_	_	△183,766	△183,766
当事業年度中の変動額合計	_	_	259,040	△362,632	△103,591	△183,766	△287,358
平成21年3月31日残高	634,555	712,204	6,102,562	△745,910	6,703,411	26,978	6,730,390

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## ●会社概要

商 号 ソフトバンク・テクノロジー株式会社

本 店 所 在 地 東京都新宿区西五軒町13番1号

事 業 所 飯田橋オフィス(本社)、お茶の水オフィス、大阪支社、名古屋オフィス、福岡支社

事業内容イービジネスサービス事業およびソリューション事業

ホームページ http://www.softbanktech.co.jp/

資 本 金 634,555千円(平成21年3月31日現在)

従 業 員 数 連結 449名 単体 395名(平成21年3月31日現在)

主 な 子 会 社 イー・コマース・テクノロジー株式会社\*、イーシー・アーキテクト株式会社\*、

MOVIDA SOLUTIONS株式会社

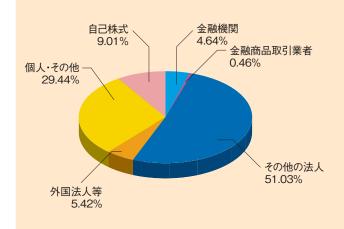
# ●役員

代表	₹取	締	殳社	長	石川	憲和	
取		締		役	鈴木	勝則	
取		締		役	志水	直樹	
取		締		役	桐榮	誠一	
取		締		役	中澤	信一	
取		締		役	青木	克志	
常	勤	監	查	役	岩瀬	岑生	
監		查		役	佐野	光生	
監		查		役	後藤	芳光	
監		杳		彸	三木	推信	

## ●株式の状況(平成21年3月31日現在)

発行可能株式総数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·····42,560,800株
発行済株式の総数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·····10,640,200株
株主数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·····5,141名

## ●所有者別持株比率(平成21年3月31日現在)



## ●大株主(平成21年3月31日現在)

(1/202: 10/30: 4/2012/		
株主名	持株数 (株)	出資比率 (%)
ソフトバンク株式会社	5,367,500	55.44
ビービー エイチ フオー フイデリテイー		
ロープライス ストツク フアンド	487,100	5.03
(常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)		
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	210,300	2.17
石川 憲和	120,000	1.23
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	114,700	1.18
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	102,600	1.05
山田 勝男	60,000	0.61
金子 博昭	50,000	0.51
クリアストリーム バンキング エス エー	45.407	0.40
(常任代理人 みずほコーポレート銀行兜町証券決済業務室)	45,187	0.46
真鳥 俊幸	39,000	0.40

(注)出資比率は、自己株式(958.866株)を控除して計算しております。

※イー・コマース・テクノロジー株式会社とイーシー・アーキテクト株式会社は、平成21年7月1日に合併を予定しております。

### 株主メモ

事 業 年 度 4月1日か 期末配当金基準日 3月31日 定時株主総会 毎年6月 株主名簿管理人・ 特別口座の口座管理機関 同連絡先 三菱UF、

4月1日から翌年3月31日まで 3月31日 毎年6月

三菱UFJ信託銀行株式会社

先 三菱UFJ信託銀行 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 0120-232-711(通話料無料)

 上場取引所

 公告方法

所 東証第一部(コード番号 4726)

法 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子 公告による掲載ができない場合は、日本経済新聞に 掲載いたします。

http://www.softbanktech.co.jp/

## お知らせ

- ●株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ②特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- ③未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

# SoftBank **Technology**

## ソフトバンク・テクノロジー 株式会社

〒162-0812 東京都新宿区西五軒町13-1 飯田橋ビル3号館 TEL. 03-5206-3300(代表)

http://www.softbanktech.co.jp/

●本誌の内容に関しましては広報IR室にお問い合わせください。

広報IR室 TEL. 03-5206-3316



